

岡山県議会議員

# 太田正孝

県政だより  
VOL.8  
平成22年  
新春号

## ご挨拶

家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

いま、福祉、教育、環境においても経済の影響が大きく出ています。経済を早く安定させなければなりません。明るい話題が一つでも多く作れるよう励んでいきます。

本年も何卒よろしく願い申し上げます。

岡山県議会議員 太田 正孝



# たくましく やさしく

## Creative Life

ひとりひとりの生きがいと  
豊かな生活基盤を創るために。

編集責任者：太田正孝 岡山市北区延友455 TEL.(086)201-5523

## 岡山県が20台購入した電気自動車は快適!!

岡山県で20台購入した電気自動車を三菱自動車(株)水島製作所で試乗しました。エンジンでなくモーターで動くことから、振動もノイズも全くなく、快適でした。加速も安定しています。課題は電池の供給量に限りがあることなどです。岡山県がこうした課題解決に対する支援体制を早く示すことが、岡山県の産業振興にも絶対につながります。私も地球環境にやさしい県になるよう提案を続けます。

## 岡山を守るヘリコプター4機集結

昨年10月17日、岡南飛行場で総合防災訓練が行われました。県内にある四機のヘリコプターが集結し、その姿は頼もしい限りでしたが、四機の中でも県防災ヘリコプター「きび」は圧倒

的に機体が大きく搭載する機器類も最新鋭のものでした。まだ、夜間飛行ができないなどの課題もありますが、県民の生命を守ることが使命です。出来れば出勤がないことが一番ですが、万



岡山県防災ヘリコプター「きび」



岡山市消防ヘリコプター「ももたろう」



自衛隊のヘリコプター



ドクターヘリ

が一のことを想定し、他の三機の合同訓練も増やして技量アップに努めて頂くことを何よりも期待します。

**知事** 水島コンビナートの競争力強化に向けて、規制緩和や

**太田県議** (その課題に対して、) どのような対策が必要なのか?

**知事** 製造業のウエイトが高く、製造品出荷額の約5割を水島コンビナートが占めていることなどから、世界的な市場競争の中で、景気や為替変動の影響を受けやすい構造にある。

## 産業構造改革について

**太田県議** 県内総生産が10年前と比較して僅かに下がり、七兆五、七五五億円となっている。また、

**平成21年11月 定例県議会一般質問から**  
12月10日に一般質問をしました。あらゆる角度から県の経済対策の実効を上げることが求めました。そのやりとり、また新型インフルエンザ対策等についてダイジェストにまとめました。県政に関心を深めて頂ければ幸いです。

**太田県議** 昨年十月の有効求人倍率は〇、五五倍となり、大学の就職率内定率は四三、七％と急落しているが、現在の雇用情勢、就職率を好転させるためには、需要の喚起が必要だ。例えば、(敷設して)35年以上経つ工業用水管の更新工事を前倒し実施するべきだ。今後の財政運営における取り組みについてはどう考えているのか?

## 需要の掘り起こし

新たな事業展開の支援を行うとともに、水島と並ぶ新たな産業基軸の構築を目指し、得意分野である超精密生産技術やバイオ関連等を中心に新産業の育成に取り組んでいきたい。さらに、今後成長が見込まれる次世代自動車や新エネルギー関連企業等をターゲットに、戦略的な企業誘致を推進し、本県産業の発展を図っていきたい。



野菜工場視察「温室を冷やす巨大ラジエーター」



巡視船「きび」に乗って瀬戸内海の水産業の視察

しており、今後とも施設補修や関係市町の負担軽減などに活用していきたい。

### 中小企業支援について

**太田県議** 県内中小企業の資金繰りの状態は、必ずしも良くない。現状についてどのような認識を持っているのか？

**産業労働部長** アンケート調査によると、運転資金の確保が当面の課題としている企業が約3割を占めていることから、県内中小企業の資金繰りは厳しい状況が続いていると認識している。

**太田県議** (中小企業に対して) どのように支援を行うのか？

**産業労働部長** これまでの金融支援に加えて、借換融資制度の導入や金融相談会の開催などの施策を充実させ、資金繰り支援を実施している。また、国の追加経済対策のなかで緊急保証制度の拡充等を行うことが決定されたことから、

今後、国の詳細な制度設計等を踏まえながら、県内中小企業の資金繰りの円滑化を支援していきたい。

### 都市の魅力アップと経済発展

**太田県議** 投資的経費が平成5年のピーク(二九二六億円)から比べえると、一九〇〇億円も減っている。税の増収を図ることが課題だ。そのためには、民間活力を

引き出すべきで、都市の魅力アップが必要だ。しかし、岡山―倉敷間は、岡山と倉敷の都市連携を強化させようにも、市街化調整区域が多く、連続した市街地を形成できない。岡山―倉敷間を今後の都市機能集積重点エリアと位置づけ、市街化調整区域を市街化区域に変更して、インフラ整備に力を注ぎ、地域経済を発展させ、都市の魅力アップを図るべきだ。どういう考え方で市街化調整区域の見直しを図るのか？

**土木部長** 県は(岡山市と倉敷市の)両市や地域住民の意向を尊重し、さらに広域な観点から適正に判断していきたい。

**太田県議** (市街化地域の線引きの見直し等の)条件緩和により、地理的要因だけでなく、経済的にも文化的にも(両市の)関係が深まり、中四国州実現が早まるはずだ。知事はこれから中四国というエリアで岡山の価値をどのように高めていく考えなのか？

**知事** 優れた産業集積や教育、医療・福祉分野における先進性を活かしながら、また地域間の連携や官民交流を進めながら、中四国の拠点としてグローバルに発展する岡山を目指してゆきたい。

**太田県議** (岡山の価値を高める上で) 岡山の成長戦略をどのように考えているのか？

**知事** 環境、新エネルギー等、

今後の成長が期待される産業分野の振興や、拠点性を高める施策などに重点的に取り組んでいく。

**太田県議** また中四国州の実現に向けた方策についての御所見を聞かせて頂きたい。

**知事** 中四国地方の発展と広域的な交流の推進に向けた議論を深めるとともに、瀬戸内海の環境保全や広域観光、瀬戸大橋の利用促進をはじめとする広域連携を強化するなどして、一体感と機運の醸成を努めたい。

**太田県議** 次に、県民福祉の観点からだが、日本の競争力が低下し、企業の力が落ち、県民福祉が細っている。6月定例県議会では「県民福祉の向上を図る」と答弁したが、どのようにして県民福祉の後退をさせないようにするのか？

**知事** 県をはじめとする公的主体が果たす役割が高まっている。中長期の安定した経済成長と雇用を実現するために、新産業や福祉、介護、農業などの新たな発展に向けて取り組みたい。

### 県職員の士気アップ

**太田県議** 来年度、総合政策局(仮称)を誕生させようとしているが、県が元気になるには県職員が本気になることだ。(現在、)七、四%の給与カットしているが、今の政府の財政方針だと、さらに給与カットをしなくてはならなく

なるのではないか。四年後に給与を戻せる自信はいかほどあるのか？また、その根拠は？

**知事** 何としても平成24年度までに改革を成し遂げられるように、全力で取り組んでいく。

### 県はもっとリーダーシップを持って

### ごみ処理広域化計画への対応について

**太田県議** 備前環境施設組合から備前市、瀬戸内市が脱退した「ごみ処理広域化計画」の問題で、県のスタンスとして、基礎自治体が進めることを基本とし、相談がない限り助言・指導を余りしていないように思う。広域計画に係る事業について、県のリーダーシップがほとんど感じられないが、とりまとめをした立場からも、事業が



11月定例議会にて

(3)

前に進むように、県が助言・指導をもっと行うべきと考えるが、いかがか？

**知事**

住民の日常生活に直結する事務については、市町村が幅広く包括的に担うべきであるが、単独では処理することが適当でないとい認められるものについては、隣接する市町村が連携して広域で処理することが必要である。こうした行政課題については、適時適切な助言や市町村相互間の連絡・連携、合意形成に向けた調整等を通じ、事業の実施をしていくことが県の役割である。

**太田県議**

現在の行政制度の中で、市町村を包括する広域の地方公共団体としての県の役割は変わってきたのか？

**知事**

(市町村の) 補完事務について、県が処理することが基本とされている。こうした役割は、権限委譲や合併による市町村の規模・能力の拡大により縮小する一方で、広域自治体として、県土の整備保全、広域防災や経済・雇用対策などの課題に総合的に対応していく役割が、一層重要になっている。

**スポーツで健康増進、交流を**

**未利用地の有効活用について**

**太田県議**

売れ残った工業団地

の土地や津高フルーツパーク用地、解散が決まり本年4月からは県で管理することになった住宅供給公社が持つ吉備高原都市やテラス郡の住宅用土地を暫定スポーツ広場として有効に活用することを提案するが、どれくらいの未利用地があるのか？

**知事**

本県が有する未利用地は全体で一一四件、約二九一haである。

**太田県議**

それらの未利用地をどのように活用していく考えなのか？

**知事**

県庁内、国、所在する市町村の公共利用の活用要望を聞いた上で、利用要望のないものについて、最終的には処分を検討することになっている。現在グラウンドとして活用している未利用地は一箇所、新たにスポーツ広場として利活用する際には、個別に検討が必要である。

**新型インフルエンザ対策**

**補充授業について**

**太田県議**

新型インフルエンザの流行により、学級閉鎖をしたため補充授業も考えざるを得ない状況だ。(昨年12月10日時点で) 補充授業を予定している学校は県内にどれくらいあるのか？

**教育長**

小学校42校、中学校16校、県立高校24校である。

**太田県議**

中学3年生や高校3年生では受験への影響が大きいと思うが、補充授業への支援について、県教委はどのように対応をするのか？

**知事**

1日の授業時数を増やしたり、冬休みに補充授業を実施するなどして、学習時間を確保し、受験にも支障がないように工夫して対応をする。

**20年度の先生の休職者は一四七人。**

決算特別委員会で、全国学力テストの結果を受けて、授業改善に努め、学力向上に向けて組織をあげて取り組んでいるとの報告が教育委員からありました。

この問題とは別に、私は20年度の先生の休職者はどれくらいいたのかと質問をしました。実情は、全体では一四七人でしたが、精神的な問題で休職した先生は九二人であったとのことでした。併せて、平成18年度がピークで、19年度、20年度と徐々に減少しているとのことでした。

休職理由は先生間の人間関係・保護者との人間関係・学級崩壊等であると報告されました。私はこのような現場の状態をもっと改善する取り組みについて、



決算特別委員会

**11月定例県議会を終えて...**

県の財布も底をついていることをあらためて感じました。財政構造改革プランで大鉈を振ったのですが、新政権の財政運営方針次第では、また財政危機に陥ります。税の増収が図れるように未来へ投資をするべきとの思いを強くしました。本年は攻めの姿勢でやります。

太田正孝

**官僚支配に風穴を!!**

昨年十月末、腹痛が二三日続き、我慢しきれず病院に飛び込むと、医師から手術との宣告。病名は腹膜炎。盲腸が炎症を起こしたことが原因で手術をし、そのまま十一日間病院にいました。我慢をせずに早めに診断を受けていれば、これほど痛い思いをせずに済んだはず。みなさんも痛いところがあれば直ぐに病院に行きましょう。

さて、この入院中、国会中継をよく見ることができました。見ていて、もっと踏み込んで質問をして欲しい場面がいくつもありました。その一つが事業仕分けについてです。金額ばかりだけでなく、何故するのか、目的について問いだして欲しかったです。

この後、事業仕分けが行われました。目標の三兆円に遠く及ばず六、九〇〇億円の削減。民主党議員の舌鋒鋭い質問を見ていると、鬱憤を晴らすことができたかもしれません。その後スーパードットピエーターの予算等は復活をしました。これらのことは当初に目的や評価基準が示されていなかったことが起因していると言っても過言ではないでしょう。そして22年度当初予算概算要求が九五兆円になったことなどは官僚の壁を破りきれなかったとも言えます。政治がもっと力をつけて官僚支配に風穴を開けなければ、日本の発展はありません。私も身体が回復しましたので、これまで以上に国民の視点に立った政治の実現に頑張ります。

●県政報告会は、二人でも三人でも、太田正孝の話が聞きたいという方がおられましたら、どこでも伺います。

●地域行事・慶事・訃報等がありましたら、是非ご連絡ください。

連絡先…太田正孝事務所 (TEL.086-201-5523) 月～金曜日 10:00～16:00

てくてくまさたか①

### 県産木材の活用事例を もどめて…高知県をてくてく!!

#### 木造で福祉施設を



地元産木材の利用促進に力を入れていた高知県を自民党県議団有志で訪ねました。一箇所目は、「洋寿荘」という福祉施設です。ここは名前からうかがえるように太平洋のパノラマを満喫できる場所に建てられていました。これまで耐火や耐震化等の問題から木造では、福祉施設を作ることが困難でした。それを「構造改革特区」ということで、特別に木造建築での建設許可を得て、整備されていきました。見学をさせて頂いて、木の香りがする大変素晴らしい施設でした。岡山県でも県産木材の活用を進めながら、快適な住環境が提供できる取組を福祉施設から始めるべきです。



#### 屋根を木で造った高知駅

もう一つは、JR高知駅です。最初は分かりませんでした。説明を聞くと、アーチ型の屋根に県産木材を使っているということ。見ると、やはりそうです。高知の玄関口に県産木材をピーアールする取組は見事です。高知を訪れた際は、お立ち寄りされてはいかがでしょうか。



てくてくまさたか②

### エロゾル生活環境の 事例をもどめて、 岩手県をてくてく!!

#### 稲庭高原風力発電所

二十年ほど前勤めていたヤマハ発電機では、私の隣の部署が風力発電の開発をしていました。結局、トラブルが多く、撤退を余儀なくされました。ところが今、様々な課題を克服して、少しずつ風力発電が全国に増えつつあります。その一つ、岩手県の稲庭高原風力発電所を訪ねました。高原ですから、十分な風があるそうですが、風が強すぎると、運転を止めなければいけないそうです。また、冬の雷で運転できなくなることもあるそうです。今後、増やすかどうかをお尋ねすると、送電線を増設するお金がかかり過ぎるので、できないとのこと。ここにも課題があり、

風力発電を増やすにはまだまだ幾多の課題があります。



名物の  
せんべい汁



てくてくまさたか③

### 子ども達の成長に 『地域力』はかせません

#### 津高親子まつり(岡山編)

10月25日に津高親子まつりに参加させて頂きました。焼き芋、パンパン菓子、投てきと楽しませて頂きました。子どもたちが地域の方々と一緒になっ



ダーツのゲーム



できたてホヤホヤ  
やきいも



なつかしの  
パンパン菓子

#### 縄作り(岡山編)

昔、祖父に縄作りを習ったことがあります。その懐かしい縄作りを地域のイベントでされていきました。次女はなかなか上手い手つきと地域の方にほめられると、調子にのって長い時間縄作りに精をだしました。



庭瀬の常夜燈

てくてくまさたか④

### 新潟県も 厳しい財政状況

決算特別委員会で新潟を訪問。新潟県も厳しい財政状況とのお話を聞かせて頂きました。岡山県と同様、三位一体の改革で地方交付税が大幅に減額されたことが起因しています。地方の財源のあり方についても、国の財政と併せて議論が必要です。



#### 編集後記

#### みんなでやろうZE!

広島での会議に参加しました。その際、谷垣総裁は「人と人の絆を大事にしたい。みんなで作ろうぜ」と呼びかけられました。今、大事なことは上辺だけのお付き合いではなく、真の信頼を築くこと。自民党もフルモデルチェンジして、国民の信頼を再構築することが必要だ。会終了後、同

